

平成28年度 小さな経営革新チャレンジ支援事業 事例紹介

京都乙訓農業改良普及センター

【農産物生産】

日射制御型拍動自動かん水装置で露地ナスの省力安定生産

市町村	向日市	伴走支援 のポイント	装置導入の相談に対して、国研究所および導入実績のある京都府外の普及センターから情報収集し、技術指導を実施した。
実施主体	露地ナス生産者		
事業費	311千円(補助金額:200千円)		
成果	夏季の施肥作業の時間を短縮(前年比37%)でき、収穫、防除などその他作業を効率的に行えた。また、液肥が常に供給されることで順調に生育し、高品質のナスが安定的に生産できた。さらに、肥料代が削減(同58%)できた。		



日射制御型拍動自動かん水装置



均一に生育した高品質のナス

【流通・販売】

新たな販売拠点の農産物等直売所がオープン!

市町村	京都市	伴走支援 のポイント	会場の常設のぼり、パネル、チラシ設置を助言した。特産タケノコの簡単料理教室の開催を提案し、レシピ作成、配布を支援した。生産面は美味しい野菜づくり講習会の講師を担当した。
実施主体	農産物等直売組織		
事業費	186千円(補助金額:115千円)		
成果	農産物等直売所がオープンし、地元農家の新しい販売拠点ができた。チラシ作成・新聞折込によって、オープン月の販売額が年間販売額の21%を占め、好調なスタートとなった。		



ラベルが貼られた販売物



農産物等直売所オープン

【6次産業】

地域活性化をめざし醸造用ブドウ栽培を開始

市町村	京都市	伴走支援 のポイント	高齢化が進む中山間地域で、農地活用と地域活性化を図るため、品種選定、醸造許可の情報提供、有機物投入による土づくりを指導した。
実施主体	新規ブドウ生産者		
事業費	382千円(補助金額:200千円)		
成果	暗渠排水を施工し、土づくりをしたほ場に醸造用ブドウの苗木1品種250本を定植した。今後、品種及び栽培面積を増やし、地元産ブドウを使ったワインづくりを目指す。		



醸造用ブドウを定植



育ちつつある醸造用ブドウ

小さな経営革新チャレンジ支援事業 事例紹介

山城北農業改良普及センター

【農産物生産】

宇治田原町で茶苗生産方法を確立

市町村	宇治田原町	伴走支援 のポイント	セルトレイに充填する用土とかん水育苗方法及び、販路をアドバイスした。
実施主体	若手茶生産農家		
事業費	419千円(補助金額:200千円)		
成果	タイマーと灌水チューブを組み合わせたかん水設備を導入したことで高額なスプリンクラーより経費が85%少なくなった。また、成苗率80%と安定的に良質なセル苗が生産できた。		



生育具合の確認

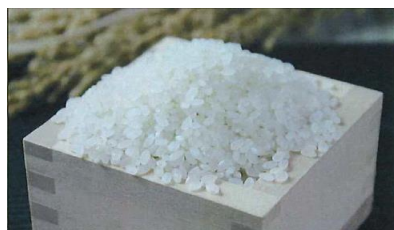


さし木の生育(120日)

【流通・販売】

オリジナル農園ロゴデザインと米袋の制作

市町村	八幡市	伴走支援 のポイント	本事業活用とアグリビジネス商談会参加をセットで取り組むようにアドバイスしたことで、流通・販売の意識が高まった。
実施主体	米栽培農家		
事業費	294千円(補助金額:196千円)		
成果	環境に配慮した化学肥料・農薬不使用の米を栽培し、オリジナル農園ロゴデザインと米袋を制作して販売促進活動を行うことで、新たな商談が3件成立した。		



食味鑑定米「石清水」



オリジナル農園ロゴデザイン米袋

【6次産業】

イチゴ規格外品を有効活用した加工品の試作販売

市町村	京田辺市	伴走支援 のポイント	直売所ではジャムやシロップ類を試食販売するとよく売れること、瓶詰めよりスパウトパックの方が購入しやすいことなどをアドバイスした。
実施主体	若手イチゴ生産農家		
事業費	358千円(補助金額:200千円)		
成果	直売所で人気のスパウトパック入りイチゴソースの本格的に販売を開始した。また、観光シーズンの需要に応えるようフローズンの新たな販売を予定している。		



瓶詰めジャム(上段)
スパウトパック入りソース(下段)



平成29年5月
販売予定の
フローズン試作

小さな経営革新チャレンジ支援事業 事例紹介

山城南農業改良普及センター

【農産物生産】

4月咲きの菊生産にチャレンジ

市町村	南山城村	伴走支援 のポイント	天気予報値とハウス内気温実測値との差を認識させ、適切な加温・保温管理を支援した。また春先の害虫防除の指導を行った。
実施主体	女性農業者		
事業費	326千円(補助金額:200千円)		
成果	冬季の保温や暖房、春先の害虫発生に苦労したが、4月出荷の見通しを得られた。冬季管理のさらなる徹底により、3月の彼岸出しを検討する。		



保温管理したハウス



開花が近づくキク

【流通・販売】

新規野菜を栽培し地元スーパーへ供給

市町村	木津川市	伴走支援 のポイント	トウモロコシ、キャベツ、ブロッコリーの栽培技術やアライグマ対策、保冷流通技術を支援した。
実施主体	若手農業者		
事業費	287千円(補助金額:191千円)		
成果	初めてトウモロコシ栽培、保冷出荷を実施した。地元産の鮮度と甘さをPRしたチラシにより午前中に完売するなど好評で増産を要望されている。また、秋冬野菜も同様に順調に販売できた。		



保冷剤を使って出荷



スーパーのチラシに掲載

【6次産業】

和紅茶の製造や茶菓子等の試作で販路拡大を目指す

市町村	木津川市	伴走支援 のポイント	和紅茶等を利用した菓子類づくりへの助言と、商談会参加への誘導
実施主体	若手農業者		
事業費	311千円(補助金額:200千円)		
成果	和紅茶と和紅茶ジェラート、抹茶入り焼き菓子のアイテムを増やし、商談会でバイヤーの関心を引くことができ、前年度に比べ、平成28年度の販売先は2倍になった。		



自家栽培の茶を利用した品々



小さな経営革新チャレンジ支援事業 事例紹介

南丹農業改良普及センター

【農産物生産】

白ネギの春どり栽培にチャレンジ

市町村	亀岡市	伴走支援 のポイント	春どり栽培に適した晩抽性品種の選定、病害虫防除、雑草及び肥培管理等の技術習得を支援した。
実施主体	富永 誠		
事業費	239千円(補助金額:159千円)		
成果	晩抽性品種「春扇」、「長悦」の春どり栽培に取り組み、栽培技術を確立することで、11~2月までであった出荷期間を4月まで拡大することができた。今後はさらに面積を拡大し栽培を行う予定である。		



白ネギ晩抽性品種の栽培ほ場(10a)



調整、袋詰めされた白ネギ

【流通・販売】

イタリアンレストランとの野菜取引拡大にチャレンジ

市町村	亀岡市	伴走支援 のポイント	生産環境の改善、生産計画、安定栽培をアドバイス
実施主体	井上 清美		
事業費	312千円(補助金額:200千円)		
成果	トレビス、コールラビ、金時ニンジンなどの生産事例の少ない野菜を栽培するため中古ハウスを再生させ環境を整えた。生産、出荷を通じて、取引先からのニーズに対応できる生産・販売環境の土台づくりができた。		



取引先への出荷を待つ野菜



生産した野菜を使った料理

【6次産業】

会員の加工品の認定制度を創設し、自信作をロゴマークでPR

市町村	亀岡市、南丹市、京丹波町	伴走支援 のポイント	認定制度の創設提案、 ロゴマーク図案、POPの作成支援
実施主体	南丹地域農村女性・加工研究会		
事業費	153千円(補助金額:102千円)		
成果	会員の加工品で一定基準を満たしたものに「京都丹波逸品」のロゴマークシールを貼付し、おすすめ品としてPRを開始した。また、シールのPOPを直売所等に設置し、消費者への知名度を高めた。現在の認定商品は22点で、順次拡充していく。		



ロゴマークシール



道の駅に設置されたPOPと商品

小さな経営革新チャレンジ支援事業 事例紹介

中丹東農業改良普及センター

【農産物生産】

「山ブキ栽培」で春の所得確保へ

市町村	舞鶴市	伴走支援 のポイント	・栽培技術の支援 ・定植用苗(地下茎)入手先の紹介
実施主体	大川ファーム		
事業費	104千円(補助金額:64千円)		
成果	集落の高齢化が進む中、新たに女性・高齢者の活躍の場づくりとして「山ブキ栽培」に取り組んだ。遊休ほ場を活用して栽培し、定植後順調に生育しており、春の収入源として期待できる。		



地下茎の定植作業



生育する山ブキ

【6次産業】

雑穀等を使った加工品「ほんせんべい」の開発

市町村	綾部市	伴走支援 のポイント	アイデアを具体化するために、事業計画の策定支援やこまめな事業進捗管理を実施。
実施主体	穀彩研究舎		
事業費	522千円(補助金額:200千円)		
成果	食品添加物不使用のため、特に子育て世代の母親から高評価が得られ、着実に売上を伸ばしている。通常のせんべいより、一枚当たりの原料が少量なため原価率を低く抑えられた。まだ農家収入としては補助的だが、経営革新につながった。		



玄米や雑穀を使った新商品開発



フライヤーで様々な食べ方を提案

【6次産業】

地域の農産物を使って農産加工にチャレンジ

市町村	舞鶴市	伴走支援 のポイント	・事業計画策定の支援や保健所の許可申請を支援した。 ・加工に関するセミナーの紹介
実施主体	40代男性		
事業費	312千円(補助金額:200千円)		
成果	自ら生産したイチゴのジャム、スムージーだけではなく、地域で生産したイチゴ、トマト、ゆずのゼリーを試作した。同氏の加工施設が地域の野菜や加工品の販売拠点となりつつある。		



試作されたイチゴジャムとゼリー



パンフレットなどで農園を発信

小さな経営革新チャレンジ支援事業 事例紹介

中丹西農業改良普及センター

【農産物生産】

京野菜栽培にかん水システムを導入し生産が安定

市町村	福知山市	伴走支援 のポイント	生産安定のためかん水システムを導入。追肥の適期施用にもつながるようアドバイスした。
実施主体	男性中堅農家		
事業費	257千円(補助金額:171千円)		
成果	京野菜栽培(紫ずきん・万願寺甘とう)にかん水システムを導入したことで、水量の多少に関わらず容易に灌水と追肥が可能となり生産が安定した。		



紫ずきんの収穫



かん水システム(一部)

【農産物生産】

「紫ずきん」のかん水作業を省力化、さらに単収も向上

市町村	福知山市	伴走支援 のポイント	かん水作業省力化のためスプリンクラーを導入。省力化に加え、適期かん水の重要性と時期をアドバイスした。
実施主体	男性農家		
事業費	124千円(補助金額:83千円)		
成果	スプリンクラー導入により、かん水時間が1/3に短縮し、かん水ムラが無く、大幅に省力化できた。また、省力化したことで、容易に適期かん水ができるため生育が良好となり、10a当たり収量が前年に比べ4割以上増加した。		



かん水の時期の指導



適期かん水の実施

【農産物生産】

若手野菜農家がハウレンソウの冬期栽培に挑戦

市町村	福知山市	伴走支援 のポイント	冬期栽培導入に必要な、好適品種の選定やトンネル栽培技術、出荷調整方法などをアドバイス。
実施主体	若手男性農家(野菜)		
事業費	330千円(補助金額:200千円)		
成果	春夏野菜中心の経営だったが、トンネル被覆によるハウレンソウの冬期栽培に挑戦し、スーパーや個人商店に直売することで冬期にも収入が得られ、年間売上げを5割増加した。		



トンネル栽培の資材を準備



トンネル内で育つハウレンソウ

小さな経営革新チャレンジ支援事業 事例紹介

丹後農業改良普及センター

【農産物生産】

西洋人參の安定出荷に向けた取り組み

市町村	京丹後市	伴走支援 のポイント	ネグサレセンチュウ対策と西洋人參の有望品種の特性に応じた栽培支援
実施主体	丹後国営開発農地人參生産者		
事業費	324千円(補助金額:200千円)		
成果	①西洋人參の試験品種の商品化率が高いことを確認。今後基幹品種として本格導入。 ②5月は種の野生エン麦と西洋人參が輪作できることを確認。今後の栽培体系に活用。		



野生エン麦の生育状況



エン麦後に作付けされた新品種と機械収穫

【流通・販売】

オーガニック野菜セットの販売促進

市町村	京丹後市	伴走支援 のポイント	色鮮やかなエディブルフラワーや地元の鳥製かごによるデコレーション等女性目線の野菜セットを導入
実施主体	(株)自然耕房あおき		
事業費	300千円(補助金額:200千円)		
成果	・生産している野菜の特徴やPRポイントをパンフレットとして整理し、宅配業者・レストラン・通販会社等へPRできた。 ・オーガニック野菜用セットを作成し、消費者からは女性への贈り物やプレゼントに良いとの評価を受けており、販売の目処が立った。		



野菜を盛るカゴと段ボールの組み合わせを検討



完成したパンフレット(一部抜粋)

【6次産業】

付加価値の高いマスタード等の加工品づくりにチャレンジ

市町村	京丹後市弥栄町	伴走支援 のポイント	加工に手間がかからず、かつ付加価値の高い加工品の試作、製造、販売について支援した。
実施主体	有機農業者		
事業費	300千円(補助金額:200千円)		
成果	・マスタード、タバスコの試作を行い、品種までこだわったことから、タバスコはカレーやピザに、マスタードはパンにぴったりと消費者から評価を受けており、製造・販売の目処が立った。 ・デザインに凝ったラベルを作成し、自宅直売所等で販売する目処ができた。		



ラベルデザインの打ち合わせ



試作したタバスコ



試作したマスタード